

カラーコンパス EP 取扱説明書



株式会社 AT システム

カラーコンパス EP（電子ペーパーモデル）をご利用いただき、ありがとうございます。
本書にて 取り扱い方法を説明いたします。

1. 各部名称





2. 操作方法

電源 ON/OFF : ●印のスイッチを押すと電源が入ります。また、長押しすると電源がオフします。**電源をオフするときは画面が消えるまで長押ししてください**

ページ切替 : ●印のスイッチを押すと、画面が切り替わります。
計測画面、履歴画面、設定画面、データ削除画面、情報画面の順に切り替わり、さらに押すと計測画面に戻ります。

計測画面では ■印のボタンを押すと計測を開始します。
+印のボタンを押すと露光時間を上昇させます。
-印のボタンを押すと露光時間を下降させます。
画面の左上に「計測」と計測画面を示しています。

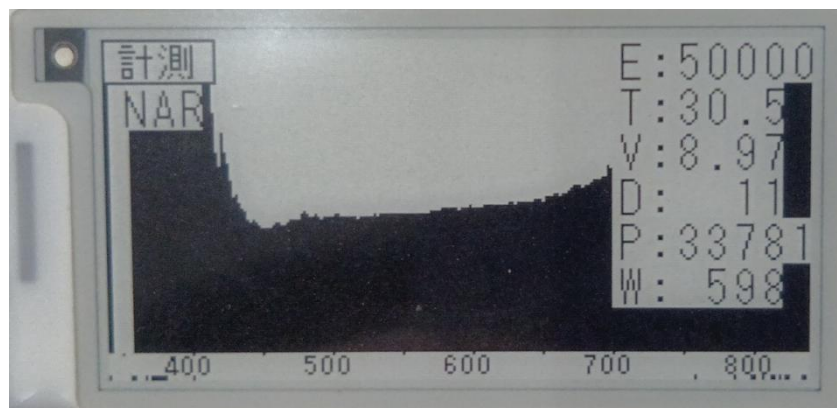
その下の NAR は 計測モード、露光時間設定モード、表示モードを表し、**左文字から**

計測モード : N(ワンショット)、C(リピート)

露光時間モード : F(固定)、S(スイッチで自動開始)、A(フル自動)

表示モード : N(生データ)、R(反射率)

を表しています。



右の**数値**項目は

E:露光時間 (us 単位)

T:ケース内温度 (度)

V:電池電圧 (V)

D:データ番号 (記録されている数)

P,W:ピークの値と波長値(nm)

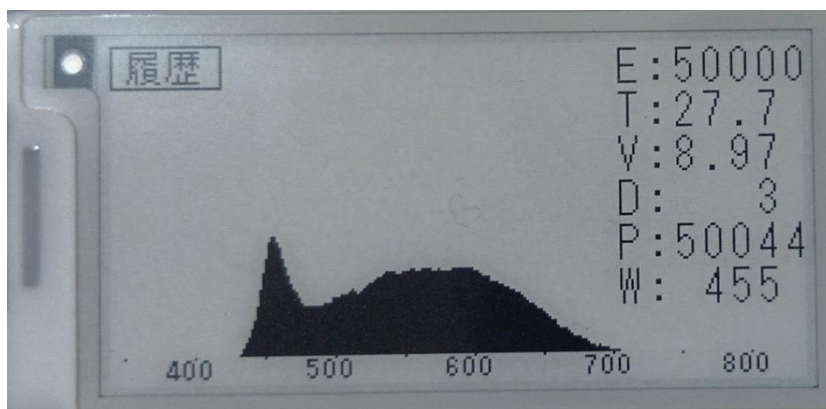
を表しています。この項目の表示の有無は設定画面で指定できます。

画面下の小さな数字は 波長値 (nm) を表示しています。

履歴画面では

計測したデータを表示します。

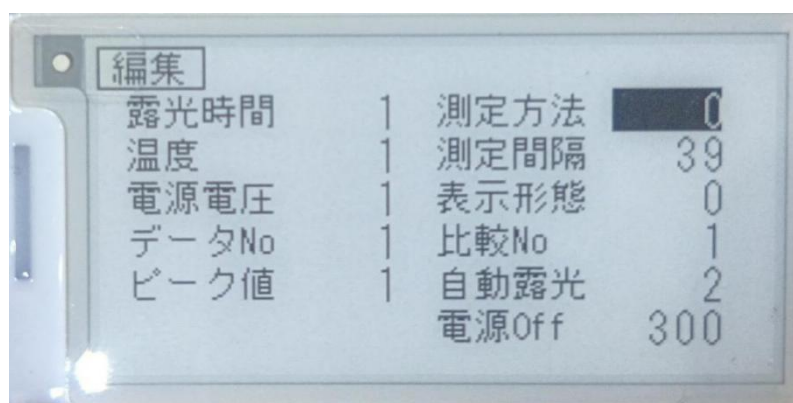
＋、－スイッチでD:のデータ番号を上下させて表示させてください。



編集画面では

様々な設定ができます。■スイッチを押してカーソルを移動できます。

各数値の変更は '＋'、'－' スイッチで行います。



右側の項目

測定方法：0 ワンショット計測、 1 リピート計測

測定間隔：リピート計測時の計測間隔を秒で指定します。

表示形態：0/データ表示 1/反射率表示 2/吸収率表示

比較 No： 反射率表示の際の比較対象データの番号をいれます。

自動露光：0 固定（スイッチ操作のみ）

1 半自動（スイッチ操作で自動露光になる）

2 フル自動（常に自動的に露光時間を調整する）

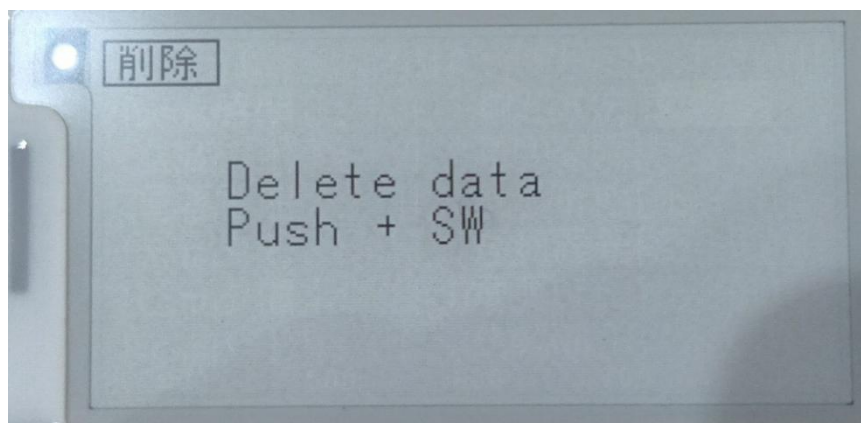
なお、自動露光状態でも範囲内であればスイッチ操作が有効です。

電源 OFF 時間：操作せずに放置したときの電源をオフする時間を 60 秒単位で指定します。0 のときは自動オフはしません。

左側の項目

各項目の表示の有無を指定します。0 で非表示、1 で表示をします。

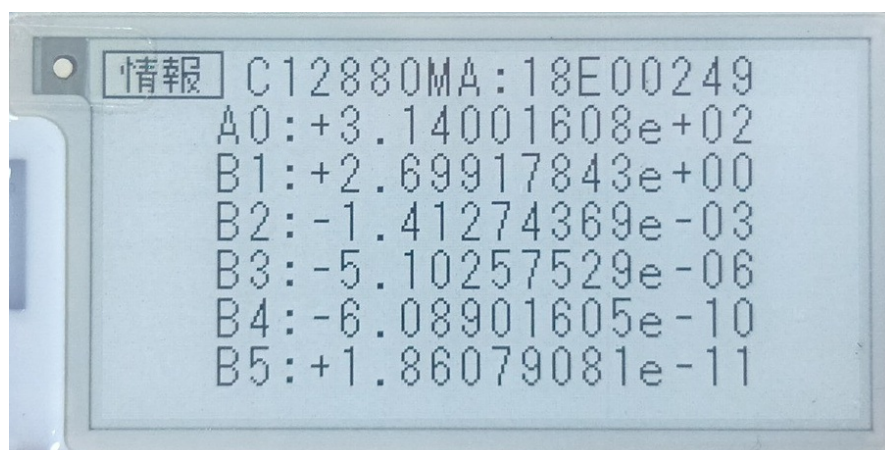
データ削除画面では



’ + ’ スイッチを押したのち ’ - ’ スイッチを押すとデータを削除できます。

情報画面では

下記のように、使用しているセンサー名およびそのシリアル番号が表示されます。



3. 充電方法

内部の電池を充電するには USB-C ケーブルをご用意し、充電してください。

(一部のモデルでは **micro-B** タイプのケーブルになっていることがあります)

充電中は赤い LED が点灯し、充電が完了すると緑の LED が点灯します。

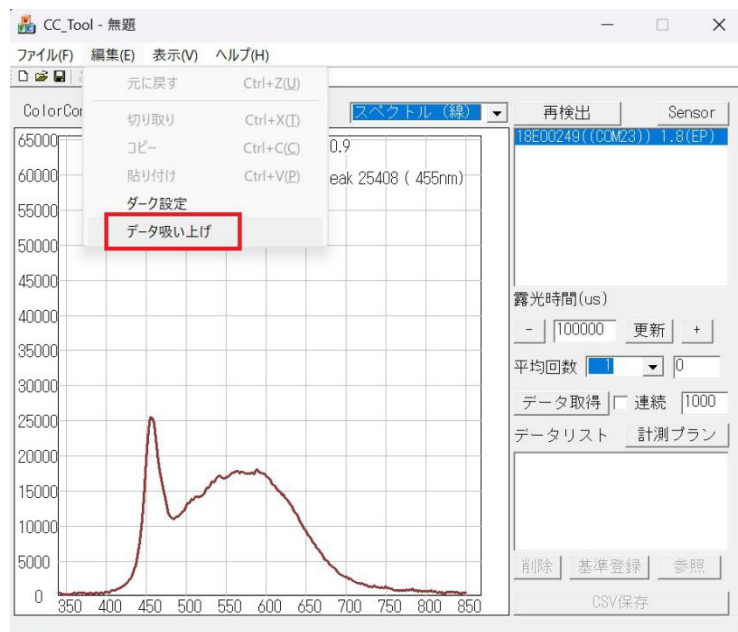
4. パソコンとの接続

CC_ToolEP.exe アプリを使用して、MFA 同等の操作ができます。

(操作方法は MFA アプリを参照してください)

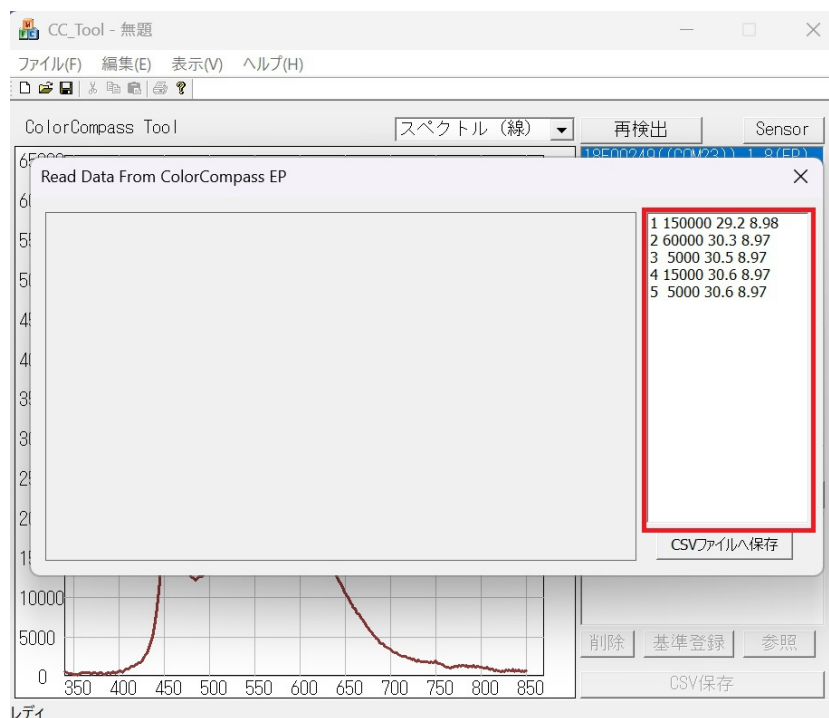
EP 用アプリを使用すると、計測で保存したデータを吸い上げることができます。

データ吸い上げ画面は 編集メニューの「データ吸い上げ」を選択します。



下記の画面が立ち上がります。

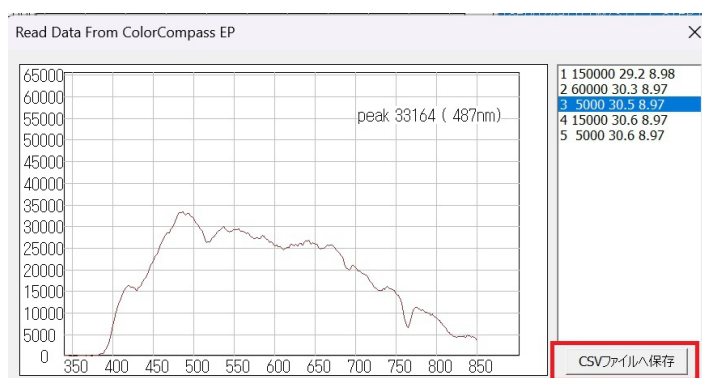
右のリストに、吸い上げる対象のデータが表示されます。



表の中の一行を選択すると、その時のデータが左に遷移 j されます



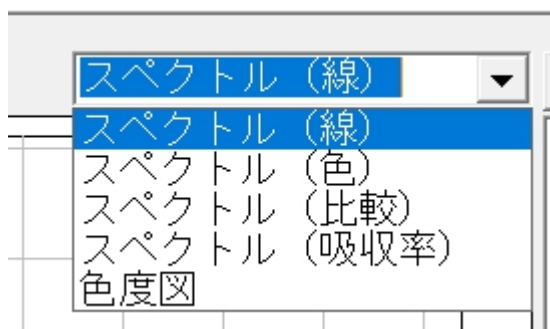
また、データをパソコンに保存（CSV ファイル）するには右下のボタンを選択します。



下記のような CSV ファイルがパソコン上に保存されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	no	temperature	voltage	340	341	342	343	344	345
2	1	29.2	8.98	414.9	383.5	441.2	498.9	486.3	399.3
3	2	30.3	8.97	64.4	50.6	48.6	46.6	26	-14.1
4	3	30.5	8.97	13.6	16.7	60.8	104.8	98.4	38.3
5	4	30.6	8.97	493.3	690.1	1050.5	1411	1793	2197.9
6	5	30.6	8.97	1103.8	1443.3	2033.9	2624.5	3337.3	4179.8
7									
8									
9									
10									
11									

表示方法はスペクトル表示（線）、スペクトル表示（色）、比較、**吸収率**、色度図です



5. 単独使用とMFAとしての使用方法について

MFAとして使用する場合、注意点があります

MFAとして使用（パソコンと接続中のち、アプリを起動した後）は

1. 電子ペーパーの表示が更新されません

これは 電子ペーパーの動作が遅く、従来のMFAとして機能に支障がでるため

2. ボタン操作ができません

これも、MFAとしての機能を優先するため

3. 画面上には 下記のような表示がでます



4. MFAとして使用しているときは 自動電源OFF機能ははたらきません

また、電源は電池より供給しているので、長時間使用する場合は 電池を充電しながら行ってください。

5. MFAとしての使用をやめたとき（アプリを停止したとき）は

3秒ほどまってから前記画面が消え、電子ペーパーを初期化したのちに単独使用の表示に戻ります